

願	い	病	た	で	2	平	男	2	一	最	す	私	す	明	と	へ	質	さ	私
っ	る	気	生	日	・	均	子	0	番	初	。	は	。	党	も	の	問	せ	は
て	わ	に	活	常	6	寿	7	1	一	の		大		と	お	問	て	、	
お	け	な	が	的	8	命	0	4	に	質		き		し	見	に	い	北	
り	で	り	で	に	歳	と	・	年	っ	問		く		て	舞	先	た	区	
ま	は	医	き	、	と	の	4	版	い	で		5		い	ち	だ	公		
す	な	療	る	介	な	差	2	厚	っ	す		項		と	、	き	明		
。	く	と	生	護	り	は	歳	生	伺	が		目		復	ま	ま	党		
そ	、	介	存	を	ま	、	女	労	い	、		の		旧	す	。	議		
こ	元	護	期	必	す	男	子	働	ま	一		質		と	。		員		
で	気	の	間	要	。	子	7	白	す	長		問		復			団		
、	に	生	の	と	健	9	・	書	。	生		を		興			を		
健	長	活	こ	し	康	1	3	に	健	き		さ		を			代		
康	生	の	と	な	寿	3	歳	よ	康	せ		せ		心			表		
寿	き	日	で	い	命	歳	と	る	す	て		て		よ			し		
命	を	々	す	で	と	女	は	健	ら	い		だ		り			て		
を	し	を	。	、	、	子	、	康	北	た		だ		願			、		
伸	た	望	誰	自	健	1		寿	区	だ		き		う			質		
ば	い	ん	し	立	康			命	が	き		ま		と			問		
す	と	で	も	し				は		ま							を		

末梢神経など、体を支え、動かす役割をする	は、骨・関節・靭帯、脊椎・脊髄、筋肉・腱	症候群のことを行います。人間の運動器と	ンドロームとは、ロコモと略され「運動器	必要性もいわれています。ロコモティブシ	また、最近ではロコモティブシンドロームの	運動量の確保が必要です。	コペニア症候群を予防するためには、適切な	力の低下を特徴とする症候群です。このサル	進行性および全身性の骨格筋量および骨格筋	医学的にはサルコペニア症候群といえます。	も増えるようになります。このような状態を	いたりすることが辛くなったりし、つまずき	す。階段の昇降が辛くなったり、走ったり歩	筋肉量が落ちることです。自覚するようになりま	この最初の「歩けなくなる」は65歳頃から	ます。	くなる「一分からなくなる」といわれており	老化の順番は「歩けなくなる」「食べられな	ための施策を、行う必要があります。
----------------------	----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	--------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------------------	----------------------	-----	----------------------	----------------------	-------------------

花	る	ま	ど	ま	す	い	バ	づ	談	器	ツ	園	パ	公	レ	対	し	害	器
川	た	す	こ	た	。	き	イ	く	な	具	指	や	ー	園	ー	策	た	を	官
北	め	。	こ	、		と	ス	り	ど	を	導	広	と	に	が	が	指	の	
区	の	是	も	最		し	を	が	、	受	員	場	指	指	な	っ	し	の	
長	事	非	体	近		た	け	で	安	け	な	な	導	導	ど	て	ま	総	
の	業	、	操	で		生	な	可	全	が	ら	ど	員	員	を	。	す	称	
見	を	北	が	は		活	ら	事	・	、	、	を	を	を	。			で	
解	行	区	で	ス		を	、	業	気	筋	。	利	派	行				す	
を	う	も	可	マ		送	自	で	軽	ト	。	用	遣	い				。	
お	必	高	一	ー		る	主	す	に	レ	。	し	し	、				。	
伺	要	齢	と	ト		た	的	指	楽	、	。	て	取	高				。	
い	が	者	い	フ		め	な	導	し	ウ	。	取	り	齢				。	
し	あ	の	う	オ		の	み	員	み	ォ	。	組	ん	者				。	
ま	る	運	ア	ン		応	な	か	が	キ	。	で	お	を				。	
す	思	動	プ	に		援	が	ら	ら	ン	。	り	り	対				。	
。	い	量	リ	一		を	、	の	健	グ	。	ま	ま	象				。	
	ま	を	が	い		し	い	ア	康	、	。	す	す	に				。	
	す	確	あ	つ		て	き	ド	体	運	。	が	が	、				。	
	が	保	り	で		い	ま		力	動	。	。	。	公				。	
		す	。	も		ま				相	。			。				。	

。

ボ	因	脳	を	者	す	歳	2	最	見	ア	北	か	た	教	た	で	な	下	次
リ	は	血	迫	は	。認	以	0	後	解	プ	区	ら	か	え	取	す	く	機	に
ッ	、	管	ら	、	知	上	1	の	を	リ	の	体	か	て	組	。そ	な	能	「
ク	メ	障	れ	4	症	の	2	「	お	開	ホ	操	ら	下	み	の	り	や	食
シ	タ	害	て	人	に	高	年	わ	伺	発	ー	「	操	さ	が	た	ま	、	べ
ン	ボ	が	お	に	な	齡	厚	か	い	も	ム	」	」	い	必	め	。咀	嚼	ら
ド	リ	あ	り	1	る	者	生	ら	し	、	ペ	」	」	。ま	要	は	嚼	機	れ
ロ	ッ	り	ま	人	可	の	労	な	ま	効	ー	」	」	。ま	で	、	能	な	
ー	ク	ま	す	と	能	う	働	く	す	果	」	」	」	。ま	す	口	が	く	
ム	シ	す	。認	な	性	ち	省	な	。	的	」	」	」	。ま	が	腔	落	な	
と	ン	。こ	知	る	が	認	研	る	。	と	」	」	」	。ま	、	ケ	ち	る	
は	ド	の	症	計	あ	知	究	は	。	思	」	」	」	。ま	北	ア	る	こ	
、	ロ	脳	の	算	る	症	班	認	。	い	」	」	」	。ま	区	に	と	い	
メ	ー	血	原	で	あ	の	の	知	。	ま	」	」	」	。ま	の	重	う	こ	
タ	ム	管	因	、	る	人	の	症	。	す	」	」	」	。ま	取	点	こ	と	
ボ	で	障	の	早	軽	は	調	対	。	が	」	」	」	。ま	り	を	と	は	
と	す	害	一	急	度	1	査	策	。	、	」	」	」	。ま	組	お	は	、	
略	。メ	の	つ	な	認	5	では	で	。	北	」	」	」	。ま	み	い	は	、	
し	タ	原	に	対	知	%	6	す	。	区	」	」	」	。ま	を	い	は	、	
、				策	障	で	5		。	の	」	」	」	。ま		い	は	、	
					害				。		」	」	」	。ま		い	は	、	

。

議	本	が	二		す	ス	に	し	に	目	0	伺	す	ゆ	1	そ	と	脂	内
「	年	一	つ		。	テ	は	か	っ	標	8	い	。	る	、	こ	で	質	臓
の	5	番	目			ム	、	し	つ	に	年	ま	。	計	北	。	異	脂	
報	月	「	の			が	医	な	い	し	度	す	画	区	北	常	肪		
告	8	に	質			必	療	が	て	て	と	。	・	の	区	・	型		
書	日	っ	問			要	と	ら	伺	お	比	3	実	の	の	高	肥		
で	、	つ	で			で	介	、	い	り	べ	、	施	健	取	血	満		
、	民	い	す			す	護	医	ま	ま	、	国	・	診	り	圧	を		
人	間	て	が			。	の	療	す	。	メ	は	評	断	組	が	共		
口	の	お	、			北	連	や	。	今	タ	2	価	の	み	引	通		
減	研	伺	「			区	携	介	後	の	ボ	0	・	P	に	き	の		
少	究	い	子			の	や	護	の	北	人	2	改	D	つ	起	要		
に	機	し	育			事	、	の	区	区	口	0	善	C	い	こ	因		
っ	関	ま	て			業	地	必	の	の	の	年	を	A	て	さ	と		
い	「	す	す			計	域	要	取	取	2	ま	、	サ	お	れ	し		
て	日	。	ら			画	包	に	り	組	5	で	お	イ	伺	る	て		
報	本		北			を	括	な	組	み	%	に	伺	ク	い	状	高		
告	創		区			伺	ケ	っ	み	削	削	、	い	ル	い	態	血		
が	成					い	ア	た	方	減	減	2	し	い	の	糖	糖		
あ	会					ま	シ	方		を	を	0	ま	わ	こ	こ	。	。	

調	組	公	も	庭	け	ま	な	た	ら	若	方	置	理	し	減	報	6	0	り
査	む	明	検	が	る	で	ど	、	し	者	の	し	は	ま	少	告	の	代	ま
し	糸	党	討	、	と	幅	財	内	を	が	創	ま	、	し	に	で	市	の	し
ま	魚	議	し	公	か	広	政	閣	、	元	生	し	「	ま	つ	。全	町	人	ま
した	川	員	て	営	、	く	面	府	次	気	に	。本	ま	。こ	い	知	村	口	した
。	市	団	お	住	さ	活	の	で	世	に	よ	部	。こ	て	事	が	流	。2	
	を	は	り	宅	ら	用	支	は	代	り	り	の	れ	「	会	消	出	0	
	視	、	ま	に	に	で	援	「	に	、	、	に	少	」	議	滅	に	4	
	察	8	す	優	新	き	を	婚	引	経	経	対	子	。し	は	す	よ	0	
	し	月	。	先	婚	る	検	活	き	済	し	し	化	。し	7	と	る	年	
	、	1		的	家	基	討	イ	、	の	し	非	非	て	月	い	出	ま	
	今	2		に	庭	金	と	ベ	子	好	と	常	事	7	シ	う	生	で	
	ま	日		入	や	を	か	も	循	創	態	宣	1	ョ	率	の	、		
	で	婚		居	子	、	、	」	を	環	生	言	言	5	ッ	の	低	2	
	の	活		で	ど	都	結	に	全	を	本	」	を	日	キ	下	下	0	
	取	事		き	もの	道	婚	、	国	国	部	を	採	、	ン	で	で	代	
	組	業		る	の	府	か	運	に	に	を	択	人	8	グ	、	8	か	
	み	に		制	多	県	ら	営	広	広	設	口	口	9	な	8	9	ら	
	を	取		度	い	に	出	費	げ	げ	、	採	採	9		9	3	3	

み	い	し	行	北	よ	日	上	私	し	お	本	こ	次		3	り	2	1	そ
に	い	ま	い	区	び	に	げ	は	ま	り	年	の	に			組			こ
つ	い	す	ま	も	基	、	ま	昨	す	ま	第	「	子			み			こ
い	じ	。また、	し	テ	本	「	し	年	。後、	す	二	子	ど			が			の
て	め	LINE	た	ス	方	東	た	の	その	。後、	回	ど	も			可			取
お	も	い	が	ト	針	京	。後、	代	の	東京	定	も	の			能			り
伺	増	じ	、	を	、	都	、	表	後	も	例	の	権			な			組
い	え	め	LINE	導	総	い	、	質	、	本	会	利	利			の			み
し	て	な	テ	入	合	じ	防	問	止	年	で	条	条			か			に
ま	お	ど	ス	す	対	め	止	題	策	7	「	例	例						つ
す	り	の	ト	る	策	防	策	「	推	月	い	制	に						い
。	ま	検	な	な	が	止	推	」	進	1	お	定	っ						て
	す	証	ど	ど	制	策	進	」	条	0	伺	「	っ						お
	が	を	の	の	定	推	進	」	例		い	」	っ						伺
	、	お	取	取	さ	進	進	」	」		お	」	っ						い
	北	表	組	組	れ	進	進	」	」		伺	」	っ						し
	区	面	み	み	ま	進	進	」	」		い	」	っ						ま
	の	に	を	を	し	進	進	」	」		お	」	っ						す
	取	出	お	お	た	進	進	」	」		伺	」	っ						す
	り	な	伺	伺	。	進	進	」	」		い	」	っ						す
	組		い	い		進	進	」	」		お	」	っ						す
	組		。	。		進	進	」	」		伺	」	っ						す

次に子ども・子育て支援新制度についてお伺	北区長のご決意をお伺いします。	ただきたいのですが、内田教育長および花川	条例―を制定するため、大きく前進してい	ております。是非、北区でも―子どもの権利	よい。―子どもこそ人類の創造者―と歌われ	地球に贈られた、かけがえのない宝と違って	一人の生命が誕生する。それは、全宇宙から	策の根本であると強く訴えます。	の権利条例―こそ、あらゆる子育てや教育施	そこで、子どもの人権を条例化する―子ども	どもの権利に関する条例―を視察しました。	もの権利に関する条例―、さらに―豊島区子	公明党議員団は、日本で最初の―川崎市子ど	る子供の人権は、誰がどのように守るのか？	は子どもへの敵になっっておりません。未成年であ	とって、信頼のよりどころである親が、時に	年度より7064件増加しました。子どもに	所に通報や相談した件数は、7万3千件、前	2013年度、親から虐待されて、児童相談
----------------------	-----------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-------------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

一	に	昨	期	し	額	か	り	危	一	政	次		り	の	か	こ	に	来	い
脱	は	年	に	て	を	し	、	険	危	府	に		組	影	、	と	つ	年	し
法	、	の	警	も	越	、	取	ド	険	は	危		み	響	現	つ	度	ま	
ド	特	1	察	、	え	危	締	ラ	ド	本	険		や	は	在	い	か	す	
ラ	別	2	が	販	て	険	まり	ッ	ラ	年	ド		課	ど	の	、	ら	。	
ッ	区	5	摘	売	いま	ド	も	グ	ク	7	ラ		題	の	よ	始	ま		
グ	長	件	発	量	す。	ラ	一	撰	に	月	ッ		につ	う	う	ま	る		
撲	会	を	した	が	これ	ッ	層	取	よ	下	ク		いて	な	な	る	子		
滅	お	す	事件	増	だけ	グ	厳	に	交	旬	に		お	も	の	ど	も		
に	よ	で	は、	え	取	の	し	よ	通	、	つ		伺	の	か	の	・		
関	び	に	1	て	締	販	く	る	事	脱	い		い	、	今	に	子		
す	特	上	2	お	り	売	な	交	故	法	し		し	後	後	変	育		
る	別	回	8	り	ま	金	り	通	の	ド	ま		ま	の	北	わ	て		
決	区	り	件	ま	す。	額	ま	故	連	ラ	し		す	区	区	る	支		
議	議	ま	と	す	。本	は	た	続	続	ッ	ま		。	の	取	の	援		
一	会	した	なり	す。	年上	、	した	に	に	グ	ま			か	の	新	制		
を	議	。7		。本	半年	前	た	よ	よ	な	す			、	そ	度	度		
、	長	月		年上	、	年	した	よ	よ	か				そ	の				
行	会			半年	、	の	した	よ	よ	ら				の					
な	も			、	、	金	した	よ	よ	ら				取					

メー	も	つ	で	ト	で	げ	る	取	現		商	れ	い	ば	ら	対	規	危	っ
ー	、	ま	も	を	す	て	化	り	在		売	ば	く	、	作	策	制	険	っ
カ	限	り	ー	利	。特	お	学	締	、		で	、	ら	メ	っ	、	す	ド	て
ー	界	、	」	用	。特	り	物	まり	警		は	売	欲	ー	つ	出	す	ラ	お
は	が	出	ど	し	に	ま	質	や	察		あ	れ	し	カ	も	口	る	ッ	り
世	あ	口	こ	て	に	す	な	、	や		た	ま	が	ー	、	は	こ	ク	ま
界	り	対	で	水	最	。こ	ど	危	行		り	せ	つ	は	そ	重	と	対	す
中	ま	策	も	面	近	れ	の	険	政		ま	ん	つ	を	れ	要	が	策	。こ
で	す	を	」	下	の	ら	の	ド	は		え	。こ	も	使	を	で	重	は	こ
販	。こ	取	手	で	販	の	作	ラ	販		の	も	、	う	対	す	、	入	こ
売		取	に	取	方	業	業	ッ	店		流	、	販	ユ	策	。入	入	口	こ
し		り	入	引	法	の	の	と	や		通	売	ー	で	り	口	と	こ	
て		締	る	し	は	迅	迅	し	所		原	す	ザ	す	は	は	出	こ	
お		ま	状	て	、	化	化	て	持		理	る	ー	。メ	ユ	入	口	こ	
り		っ	態	お	、	に	に	認	・		で	と	が	ー	口	は	出	こ	
、		て	で	り	、	、	、	定	使		す	こ	な	カ	口	は	口	こ	
日		い	す	、	、	全	全	さ	用		。こ	ろ	け	ー	を	ユ	を	こ	
本		て	。こ	い	、	力	力	れ	者		ろ	が	れ	が	厳	ー	し	こ	
の		い		つ	、	を	を	れ	の		。こ	な	け	が	しく	ザ	く	こ	
警		て		つ	、	あ	あ	れ	の		。こ	け	な	が		ー		こ	

こ	師	察	教	ゆ	こ	校	人	答	険	学	国	る	教	り	れ	対	ー	の	察
で	・	・	え	る	と	と	の	え	ド	生	立	認	育	ま	ば	策	対	こ	や
質	保	麻	る	角	が	、	使	た	ラ	調	精	識	3	す	、	を	と	行	
問	健	薬	こ	度	重	あ	用	割	ッ	査	神	を	、	。こ	お	行	を	政	
で	所	取	と	か	要	ら	者	合	グ	2	・	、	教	の	の	い	踏	権	
す	な	締	が	ら	で	分	が	が	を	0	神	徹	育	ユ	ず	ま	ま	の	
が	ど	官	重	か	す	かり	い	1	入	1	経	底	で	ー	か	え	え	範	
、	の	・	要	り	。一	や	ま	5	手	2	医	的	す	ザ	ら	て	、	囲	
	協	P	で	やす	危	すく	した	・	で	年	療	に	。一	ー	「	最	も	を	
	力	T	す	く	険	、	。小	6	、	で	研	教	危	対	危	重	超	を	
	と	A	。そ	、	ド	何	学	%	可	5	究	え	険	策	険	要	え	超	
	連	・	の	度	ラ	度	校	に	能	万	セ	以	ド	は	ド	な	こ	お	
	携	学	た	も	ッ	も	、	上	性	4	ン	外	ラ	、	ラ	と	り	り	
	が	校	め	徹	グ	徹	中	が	が	千	タ	に	ッ	1	ッ	は	ま	ま	
	重	医	に	底	を	し	学	り	あ	人	ー	あ	グ	、	グ	は	す	す	
	要	・	は	し	、	て	校	、	る	中	の	り	ー	教	は	ユ	。こ	こ	
	で	学	、	て	あ		、	1	。一	、	、	ま	育	2	な	ー	れ	れ	
	す	校	警		ら		高	2	と	危	全	せ	、	、	け	ザ	ら	ら	
	。そ	薬						0			国	ん							
		剤									中								

。

は、	活用が	が可能	マイナ	指して	を實現	民にと	会保障	盤」で	一人の	の行政	ついて	大きく						3、	2、		1、
自治	が進め	になる	ナンバ	ています	するた	つて利	・税制	です。	の情報	機関に	です。	三つ目						「危険	現在の	ます。	現在、
体を含	められ	ること	ー制度	。	めのため	便性が	度の効	。今回	である	存在し	。マイ	の質問						ドラッ	の課題		北区
を	ており	とから	で、政		の社会	が高く	率性、	のマイ	こと	してい	ナナン	は、マ						グーゼ	につい		の取
情報	ます。	、各	府内		基盤に	、公	、透	ンバ	の確	る個人	バー制	イナ					ロを目	てお伺			組
連携	。2	省庁	での		するこ	平・公	明性を	ー法	認を	の情報	度とは	ンバ					指す取	いしま			み
が	0	間で	情報		とを、	正な	を高	は、	を行	を、同	は、	ー制					り組	す。			につ
す	1	、情	の連			社会	め、	、主	うた	の情	バー	度					み				いて
す	7	報の	携			会	、住	に	め	報を	ー	に									お伺
め	年	情報				社		社	ため	、	複										いし
ら	か	の				会		社	の基		数										し
れ	ら																				
ま																					

な	や	予	療	ま		罹	が	の	避	例		る	と	体	社	こ		定	す
が	多	防	機	た		災	可	手	難	と		と	で	が	会	の		し	。
り	済	や	関	、		証	能	続	先	し		思	、	行	保	マ		て	更
ま	服	早	の	健		明	と	き	で	て		い	、	う	障	イ		い	に
す	用	期	レ	康		、	な	や	の	、		ま	防	各	分	ナ		ま	2
。	も	診	セ	対		土	り	、	住	防		す	災	種	野	ン		す	0
	防	断	プ	策		地	ま	教	民	対			及	の	及	バ			1
	止	が	ト	と		家	す	育	抄	策			び	行	ー				9
	で	可	を	し		屋	。	機	や	で			防	政	制				年
	き	能	分	て		の	さ	関	健	は			災	サ	度				か
	、	に	析	、		調	ら	の	康	、			分	ー	を				ら
	医	な	す	健		査	に	関	保	住			野	ビ	、				は
	療	り	ま	康		も	、	係	険	民			だ	ス	自				、
	費	ま	す	診		迅	被	に	の	の			け	と	治				民
	の	。	。	断		速	災	も	発	安			で	連	体				間
	削	重	、	の		に	者	迅	行	否			な	動	の				の
	減	複	病	情		り	の	速	。	確			く	さ	税				利
	に	診	気	報		ま	救	に	保	認			、	せ	分				用
	も	療	の	と		す	済	対	育	や			図	る	野				を
	つ			医			、	応	所				れ	こ	と				想

。

な	生	さ	レ	政	パ	身	レ	海			ま	わ	支	認	障		る	利	空						
ど	届	ら	ン	府	ス	分	ジ	外			す	た	援	定	が		こ	者	き						
が	を	に	タ	サ	ポ	証	ツ	で			。	る	の	、	い		と	や	家						
、	す	、	ル	ー	ー	明	ト	の				生	情	医	者		、	、	対						
自	る	ス	ビ	ビ	ト	、	カ	利				活	報	療	の		、	使	策						
動	と	ウ	デ	ス	の	病	ー	用				の	等	支	自		迅	用	と						
で	定	エ	オ	、	申	院	ド	事				サ	を	立		速	者	し							
行	期	ー	の	電	請	で	取	例				ポ	一	支	支		な	お	て						
政	健	デ	会	子	、	の	得	と				ー	元	援	援		対	よ	、						
か	診	ン	員	投	各	診	、	し				ト	管	、	対		応	び	建						
ら	、	の	登	票	種	察	不	て				が	理	介	策		が	管	物						
送	予	子	録	、	公	、	動	、				、	で	助	と		可	理	や						
ら	防	育	、	携	的	運	産	、				円	き	支	し		能	者	土						
れ	注	て	な	帯	資	転	登	銀				滑	る	援	、		と	な	地						
て	射	支	ど	電	格	免	記	行				に	の	、			な	ど	を						
き	、	援	が	話	取	許	、	口				す	、	介			り	を	所						
ま	育	で	あ	の	得	証	就	座				す	護	支			ま	有	有						
す	児	は	り	申	、	の	業	開				め	援	、			す	す	を						
。	手	、	ま	請	電	取	時	設				ら	、	就			。	定	有						
	当	出	す	、	子	得	の	、				れ	労	障				で	す						
																		き	権						

6、	ド	各	5	か	ネ	4	ど	3	PDCA	2	て	事	1	み	そ		取	さ	
	ラ	種			ー		の		サイ		い	業		を	こ		り	ま	
	イン	作			ジ		よ		クル		る	全		お	こ		組	ま	
	な	業			メ		う		ル		の	体		伺	こ		み	ま	
	の	の			ン		に		は		か	を		い	こ		で	な	
	整	標			ト		判		明			、		し	こ		、	活	
	備	準			の		断		確			ど		ま	こ		、	用	
	は	化			強		す		に			の		す	こ		が	考	
	、	・			化		る		な			よ		。	こ		え	え	
	一	共			は		の		っ			う			こ		ら	ら	
	部	通			、		か		て			に			こ		れ	れ	
	事	の			明				い			グ			こ		ま	ま	
	務	ル			確				る			ラ			こ		す	す	
	組	ー			に				の			ン			こ		が	が	
	合	ル			な				か			ド			こ		、	、	
	、	、			っ							デ			こ		自	自	
	他	各			て							ザ			こ		治	治	
	の	種			い							イン			こ		体	体	
	自	ガ			る							シ			こ		の	の	
	治	イ			の							し			組		の	の	

赤羽台団地再生事業について、東洋大学の	と。	安全な公園とし、健康遊具を設置するこ	7、 桐ヶ丘中央公園は、明るく見通しの良い	6、 大橋病院の再生を支援すること。	整備すること。	5、 フアミリー向け定期借地権マンションを	を行うこと。	4、 コミュニティ活性化のため、浴場の設置	3、 桐ヶ丘体育館の立替を行うこと。	2、 桐ヶ丘区民センターの設置を行うこと	1、 桐ヶ丘中央商店街の再生を行うこと。	します。	桐ヶ丘団地の環境整備について、要望をいた	都営桐ヶ丘団地再生事業計画の第6期および	題についてお伺いします。	大きく四つ目の質問です。桐ヶ丘地域の諸課			のよう	にすす	めてい	るのか	伺いま	す。			体や各	所管と	の連携	調整の	課題を	、ど
---------------------	----	--------------------	--------------------------	-----------------------	---------	--------------------------	--------	--------------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------------	------	----------------------	----------------------	--------------	----------------------	--	--	-----	-----	-----	-----	-----	----	--	--	-----	-----	-----	-----	-----	----

。

医	0	桐		5、					4、	る	3	を	2	具	1	望	更	援	誘
療	%	ヶ								こ		整		体		い	な	施	致
と	を	丘								と		備		的		た	る	設	や
介	を	地								°		す		な		し	赤	置	、
護	超	域										る		計		ま	羽	が	訪
の	え	は										こ		画		す	台	、	問
の	て	、										°		を		°	地	予	お
ス	お	高												示			域	定	よ
ム	り	齢												す			の	さ	び
ー	ま	者												こ			環	れ	通
ズ	す	お												と			境	て	所
な	°	よ												°			整	お	介
連	そ	び															備	り	護
携	の	単															の	ま	等
や	現	身															観	す	の
、	状	高															点	の	高
地	に	齢															か	ら	齡
域	即	者															ら	、	者
包	し	が															、	、	等
括	て	5															要	支	支
け	、																		

場	こ	わ	な	そ	し	ま	試	察	さ	本	と	最		す	て	定	の	と	ア
を	と	る	ど	の	、	し	験	を	れ	年	の	後		。	お	住	観	が	シ
設	で	生	の	背	近	た	場	行	ま	6	交	、			り	化	点	重	ス
置	す	糸	感	景	代	。	お	う	ま	月	流	五			ま	を	な	要	テ
し	。	を	染	に	日	富	よ	と	し	に	に	つ			す	、	ど	で	ム
、	明	、	症	は	本	岡	び	も	た	富	つ	い			。	壊	か	す	の
明	治	日	で	ヨ	の	製	蚕	に	。	岡	目	て			花	滅	ら	。	モ
治	政	本	、	ー	殖	糸	業	、	公	製	の	質			川	状	、	デ	
1	府	が	壊	ロ	産	場	試	北	明	糸	問	は			北	態	ま	ル	
9	は	輸	状	ッ	興	は	験	区	党	場	は	、			区	に	た	地	
年	明	出	態	パ	業	明	場	議	区	が	世	世			長	、	域		
1	治	す	に	の	の	治	を	団	区	世	界	界			の	自	と		
0	7	機	り	蚕	中	5	、	は	議	界	遺	遺			活	治	し		
月	年	会	、	業	心	年	紹	、	団	産	産	産			動	会	て		
に	3	に	そ	が	と	1	介	8	は	と	富				や	の	、		
北	月	恵	れ	、	な	0	し	月	8	し	岡				、	活	整		
区	蚕	ま	に	微	り	月	て	二	日	て	製				防	動	備		
西	病	れ	か	粒	ま	に	ま	日	に	登	糸				災	や	す		
ヶ	試	た		子	い	開	い	視	視	録	場					、	る		
原	験			病	り	業										こ	こ		

。

に移転しました。明治初年欧州で猛威をふるった蚕の感染症の原因である微粒子菌や白殖蚕（びやくきょうさん）、及び軟化病の伝染・予防法の確立が行われました。また、蚕が食べる桑についても、22種類の桑が栽培され、桑の木についても気候風土に適した桑の品種や生育方法、病気の見分け方、良質な桑の葉を作る品種改良などを行いました。まさしく、日本の養蚕業をはじめとした絹産業を、支え続けたのが、北区西ヶ原にあった蚕病試験場です。今後、教育的な見地からも北区の小中学校の取り組みとして、富岡製糸場との交流を提案いたします。富岡市からも賛同の意を受けております。また、近隣にある甘楽ふるさと館の利用者にも、富岡製糸場の見学をすすめてください。花川北区長および内田教育長の見解をお伺いします。以上で質問をおわります。ご清聴誠にありがとうございます。